

子どもたちを激励

## サッポロビール株式会社より清涼飲料水の贈呈<sup>9/ 30</sup>



9月30日(火)、サッポロビール株式会社(尾賀真城代表取締役社長)から沼田小学校、沼田中学校、沼田幼稚園の児童等に対して清涼飲料水の贈呈が行われました。

これは当町の「夜高あんどん祭り」の協賛団体である同社が祭りを見学した際、子どもたちが元気に声を出し生き生きとしている姿に感動し、是非頑張る子ども達を激励したいとお話があり、実現したものです。

幼稚園での贈呈に訪れた高島英也常務執行役員から「あんどん祭りでみんなが元気に声を出して頑張っている姿に感激しました。ふるさとを大切にして沼田町を元気にしてほしい。」と挨拶があり、清涼飲料水が贈呈されました。清涼飲料水の入った紙袋を受け取った園児は、うれしそうに中を覗いていました。



これからの沼田のために

## 第3回『つながる塾』が開催<sup>10/ 2</sup>



10月2日(木)、沼田町のこれからを考える「つながる塾」が、健康福祉総合センターにおいて行されました。

第3回目を迎えた今回は、34名が参加して前回までの振り返りから始まり、沼田町の健診受診率や1人あたりの国民健康保険料の給付額に関するクイズを通して沼田町の現在の保健福祉や健康状態に関する勉強会を実施しました。

その後は今までの検討結果を踏まえた施設のより具体的なイメージを頭に描きながらテーブルワークを行い、旧中学校跡地が描かれた図面に、「このような活動をしたい」「そのためにはこんな施設があり、周辺はこのような環境がいい」などといったことをイメージしながら、付箋紙や写真を用いて、イメージ図を作成しました。

参加者は自分の思いや他の参加者の意見に耳を傾けながら、よりよい沼田町の姿を模索していました。

今回のつながる塾で検討された結果は、政策推進室発行『つながる通信』にて町民のみなさまにお知らせする予定です。

▲図面等を使ってイメージ図を作成

白子ねえさんも登場

## まちなか賑わい夕市<sup>9/ 10</sup>



9月10日(水)、とむとむ広場において、まちなかにぎわい夕市が開催されました。

今年2回目となる今回の夕市は、定番の格安野菜の販売や各種屋台のほか、水土里ネットのパネル展示やヨーヨーづくり、また浦臼町からも出店があり、浦臼町のご当地キャラクター「白子ねえさん」のグッズ販売が行われました。

訪れた人達はたくさんの野菜を買い求めたり、ビールを飲みながら、終わり行く夏のひと時を楽しんでいました。

子どもたちも大喜び

## 絵本パフォーマーの絵本ライブ<sup>9/ 27</sup>



9月27日(土)、生涯学習センターで絵本パフォーマーの岸田典大さんによる、絵本ライブが開催されました。

岸田さんは「絵本はもっとおもしろい」をモットーに道内外で絵本パフォーマーとして活躍されています。

会場には大勢の親子連れが集まり、岸田さんが独自に作曲した音楽に合わせて「きょうはすてきなおばけの日」や「これはのみのピコ」などの絵本を読み始めると、子どもたちは身を乗り出しながら聞き入っていました。

△絵本パフォーマーの岸田さん

悩んだら相談して

## 小学5年生に人権擁護カードを配布<sup>9/ 29</sup>



9月29日(月)、沼田小学校(藤森正男校長)の5年生を対象に人権擁護教室が開催されました。

人権擁護委員の横山さんと平木さんから人権110番と書かれたカードが最初に配られ、人権擁護委員の平木さんから「毎日楽しく生きていくことや、自分の夢に向かって生きていくこと、すべてが守られることが人権です。楽しい学校生活の中でも悩みがあると思いますが、誰にも相談できないときはカードの番号に電話してください。」と自分たちが持っている人権について説明され、悩んだら勇気を出して誰かに相談するよう呼びかけていました。

△児童に説明する平木さん

晴天の中で  
**第19回紅葉祭りが開催**



▲多くの来場者で賑わいました

**沼田中学校で  
フィジカルトレーニング講習会** 10/8

10月8日(水)、沼田中学校(小川勉校長)で運動部に所属する1~2年生約30名が参加し、運動能力や、競技能力を高めることを目的にフィジカルトレーニング講習会が開催されました。

町保健福祉課の松野健康運動指導士による、走り方のコツや、筋肉を上手に使うことによって今以上の力、スピードが出せることを、実際に動きながら指導していました。生徒も実際に身体を動かし、一つ一つの動作を頭で確認しながら真剣な表情で取り組んでいました。



▲松野健康運動指導士から指導を受ける中学生たち

10/5

10月5日(日)、ほろしん温泉ほたる館で第19回紅葉まつりが開催され、明日萌・ほたるの里ウォーキングを完歩した参加者など約300名が会場に集まりました。

誰でも参加できるミニゲーム大会や、朝のラッキー抽選会、沼田夜高太鼓によるショーや、景品が100本以上用意された大抽選会など、内容盛り沢山で繰り広げられ、来場者たちはジンギスカンや出店の手打ちそばやしるこを食べながら、少しづつ深まりつつある秋の気配を楽しんでいました。

▲多くの来場者で賑わいました

青空の下で元気いっぱい

**明日萌・ほたるの里ウォーキング** 10/5

10月5日(日)、明日萌・ほたるの里ウォーキングが沼田町・沼田町教育委員会・沼田町スポーツ推進委員会の主催により開催され、町内外から約160名が参加しました。

開会式で主催者を代表して生沼教育長から「ウォーキングは全国で3,000万人から4,000万人を超える愛好者のいるスポーツと聞いています。豊かな自然の中、深まりゆく秋を楽しみながら歩き、ゴール地点では紅葉祭りが開催されてますので、今日一日が心と体の健康を養う一日になれば」と挨拶がありました。沼田警察署の木村署長からは「タスキをして交通安全などを呼びかけながら楽しんでほしい。また、職員が手作りで作成したマスコットも給水所で応援しているので頑張ってください」と挨拶されました。

参加者はそれぞれのコースに分かれ自分の体力に合わせて歩き、秋晴れのもと美しく色づいた紅葉を眺めながら爽やかな汗を流していました。ウォーキング後はほたる館の紅葉祭りに多くの方々が参加され、秋の味覚を楽しんでいました。



安全運転をお願いします  
**ライオンズクラブ、自動車学校が旗の波** 10/9

10月9日(木)、秋の全国交通安全運動に合わせて沼田小学校前で旗の波運動が実施されました。

ライオンズクラブ(白井有一会長)と沼田自動車学校(山岸博美校長)が合同で道行く車の運転手に、トマトジュースや反射材の入った袋を手渡し、安全運転を呼びかけました。

町は交通事故死ゼロ1000日(平成27年4月4日)を目指し、交通安全を呼びかけています。町内だけでなく、町外に出かける時もシートベルトを締めて、交通安全を心がけましょう。



▲通行する車に交通安全を呼びかけました



# リズムに合わせて 高齢者元気100倍！教室<sup>10/10</sup>

10月10日（金）健康福祉総合センターのホールで「高齢者元気100倍！教室」が行われました。この日は「誰でも手軽に！フロアカーリング」を北海道青少年体験活動支援施設ネイパル深川の方を講師に招いて開催されました。フロアカーリングとは、木製のターゲットを目的に得点を競うもので、ルールもわかりやすくだれでも楽しめるスポーツとして1993年に新得町で考案されました。

同教室に参加した約30名が4名で1つのチームを作り、各チームと総当たりの試合を行い、初めての競技に最初は戸惑っている方もいましたが、慣れてくると皆さん笑顔で楽しんでいる様子でした。



## 表彰

各種団体や町内企業の皆さんが各種方面での活躍に対して、表彰されましたのでお知らせいたします。

### いつまでもお元気で 百歳高齢者内閣総理大臣表彰



▲表彰状を受ける藤間さん

9月11日（月）特別養護老人ホーム旭寿園（谷口勲園長）において、百歳を迎えた入所者の方に対するお祝い状及び記念品の贈呈式が行われました。

これは今年に百歳を迎える方に対して、社会の発展に寄与してきたことへの感謝と、自らの生活の向上に努める意欲を更に高めることを目的に、内閣総理大臣からお祝い状及び記念品を贈呈するものです。今年は藤間ハル子さんが百歳を迎えられ、金平町長からお祝い状と記念品を受け取りました。